

市民活動促進基本計画の進捗管理方法について

1 目標の達成状況の把握と評価（アウトカム指標による把握）

【現在】

- ・大項目 7、小項目 22 を設定。
- ・結果に対し、市民活動推進課の評価を記載している。
- ・毎年実施している。

【修正案】

- ①結果に対し、市民活動推進委員会による評価を追加する。
→状況に対するより客観的な評価と、「インパクト」（社会への影響）を推し量れる。
- ②武蔵野プレイスに関連する項目について、武蔵野プレイスによる自己評価を行う。
- ③市民社会福祉協議会・ボランティアセンター武蔵野に関連する項目について、市民社協及びボラセンによる自己評価を行う。
- ④評価の対象項目に以下のものを追加する。

テーマ	大項目名称	小項目名称
市民社協・ボラセンに関すること	ボランティアセンター武蔵野活動状況	活動会員登録数（個人）／活動会員登録数（団体）／ボランティア依頼受付件数
ボラセン主催事業に関すること	ボランティアセンター武蔵野実施事業状況	参加者数／事業数
市民社協による団体への助成に関すること	武蔵野市民社会福祉協議会ボランティア・地域活動助成事業実施状況	補助対象事業／一般向け事業／会員向け事業（当事者団体の事業）／（申請事業）
市民活動団体等から市への協働等の働きかけに関すること	市と外部団体等との協働等の実施状況	市及び市財援団体以外の主催事業の市報記事数／市の後援名義の使用事業数
武蔵野プレイス市民活動支援フロアに関すること	武蔵野プレイス市民活動フロア利用状況	ワークラウンジポスター掲示件数／チラシ設置件数
市民活動団体等の活動場所への支援に関すること	コミュニティセンターの利用状況	17 コミセン貸出施設平均利用率

- ⑤その他の大項目／小項目を追加する。
→どのような項目が妥当か？
- ⑥武蔵野プレイス登録市民活動団体及び市民社協会員登録団体にアンケート調査を実施する。
→内容、頻度（3～5年毎に実施？）等実施方法の検討が必要。

※ ①～④の内容は、資料 4 及び 4' に記載

2 事業の実施状況の把握と評価（アウトプット指標による把握）

【現在】

- ・市役所のすべての部署に対して毎年実施している「市民活動団体等との事業実施状況調査」により回答された事業が、計画の「基本施策／施策」に合致するか、市民活動推進課が判定している。（第1回委員会資料「資料6／2 事業の実施状況」）

【修正案】

- ①武蔵野プレイス市民活動支援事業について実施状況一覧を新たに作成し、計画の「基本施策／施策」に合致するか判定する。（第1回委員会資料「資料6／2 事業の実施状況」の武蔵野プレイス事業バージョン）
- ②ボランティアセンター武蔵野が実施する事業について実施状況一覧を新たに作成し、計画の「基本施策／施策」に合致するか判定する。（第1回委員会資料「資料6／2 事業の実施状況」のボランティアセンター武蔵野事業バージョン）
- ③武蔵野地域五大学が実施する地域と連携して実施している事業又は地域貢献活動の実施状況について3～5年ごとに調査を行い、その一覧を作成し、計画の「基本施策／施策」に合致するか判定する。

3 総合的な評価

【現在】

- ・計画目標の達成状況の指標として設定した項目の値と、事業の実施状況の総括に対して、市民活動推進課で評価（コメント）を付している。

【修正案】

- ・計画目標の達成状況の指標として設定した項目を「アウトカム指標」と「アウトプット指標」に改めて分類し、当該年度の数値とその変化に対して事業実施主体と市民活動推進委員会からそれぞれ評価を行う。

※ 資料4及び4'に追加

《参考》

・「アウトカム指標」

事業実施の結果、市民や社会にどのような効果が生まれたか、というもの。受益者の観点から、得られた具体的な効果や効用を基準とする。「市民の動き」がどうであったか状況を把握するための指標。

・「アウトプット指標」

事業の実施状況、行政がどれだけ事業を提供したか、というもの。計画に即してどのような事業をどの程度実施したかを表す。「行政（等）の動き」がどうであったか状況を把握するための指標。